

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産について定額法による方法を採用している。

(2) 引当金の計上基準

(i) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(ii) 退職給付引当金

職員に対する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生している額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
減価償却引当資産	5,560,000	0	0	5,560,000
退職給付引当資産	4,067,925	0	0	4,067,925
合 計	9,627,925	0	0	9,627,925

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
減価償却引当資産	5,560,000	(0)	(5,560,000)	(0)
退職給付引当資産	4,067,925	(0)	(0)	(4,067,925)
合 計	9,627,925	(0)	(5,560,000)	(4,067,925)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,735,550	2,391,495	344,055
車両運搬具	5,623,295	5,623,293	2
什器備品	4,661,044	4,613,832	47,212
合 計	13,019,889	12,628,620	391,269

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の記載区分
補助金	厚生労働省	0	10,615,000	10,615,000	0	—
(国庫補助金)	(補助事業者) 福岡県シルバー 人材センター連合会	0	10,615,000	10,615,000	0	—
那珂川市補助金	那珂川市	0	14,200,000	14,200,000	0	—

付属明細書

1. 特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	減価償却引当資産	5,560,000	0	0	5,560,000
	退職給付引当金資産	4,067,925	0	0	4,067,925
	特定資産計	9,627,925	0	0	9,627,925

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	0	0	0	0	0
退職給付引当金	4,067,925	0	0	0	4,067,925